

りいぶる

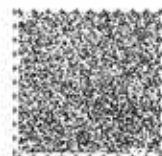
No.58
2013.8



※「りいぶる」開館1年目に男女共同参画を啓発するため、全国公募で大賞作品に選ばれた絵本「おとうさんのおおきなポケット」の作者、相馬 匠（たけみ）さんより、「りいぶる」15周年によせて描いていただいたイラストです。

目次

- ①② りいぶる★アイ「経済活性化のカギは『女性』にアリ！」
・「女性と経済」特別公開セミナー 勝間和代さん講演会
・男女共同参画推進事業者インタビュー
- ③④ 講座・イベント案内
- ⑤ 地域のチカラ
- ⑥ 「りいぶる」図書室
青少年・男女共同参画課インフォメーション
- ⑦ 「りいぶる」相談室
わかやま mine (性暴力救援センター和歌山) 開設のお知らせ





経済活性化のカギは『女性』にアリ!

国の成長戦略にも盛り込まれた「女性の活躍」。大企業で管理職への女性の登用が進むなど、日本経済の建て直しには女性の力が欠かせません。しかし、妊娠・出産のために退職する女性が多いのも事実です。

そこで、今年の公開セミナーでは、経済評論家の勝間和代さんを迎えてお話をいただきました。

勝間流・女性と経済、そのキーワードは…。



男女共同参画週間 「女性と経済」特別公開セミナー

6月26日(水) 和歌山ビッグ愛大ホール

女性が活躍すると、男性が楽になるわけ

勝間 和代さん (経済評論家、内閣府男女共同参画会議議員)

女性が活躍できる新しい社会へ

さわやかな笑顔とともに壇上に登場した勝間さん。満場の参加者に向け、女性の活躍が日本経済にいかにも有効なのか、ユーモアを交えながらわかりやすく講演されました。

経済評論家として幅広く活躍するかたわら、内閣府男女共同参画会議議員も務めており、今年のキャッチフレーズ「紅一点じゃ、足りない。」も同じ女性の立場として推薦されたとのこと。「男女共同参画は男性も当事者。日本は男性中心に働き、女性はがんばらなくてもいい社会構図がつけられてきた結果、納税額が下がるとさらに男性が働いて補う悪循環に陥っている」と解説しました。

つづいて、国の「アベノミクス」といわれる経済政策を紹介し、「女性の活用」が最重要課題として掲げられていると評価。一方で、女性の活用を阻む要因を「待機児童問題」「配偶者控除(103万円の壁)」「若年層の就業率低下」「男性中心の労働環境と長時間労働」などから解説。待機児童の解消を図り女性の就業率を上げようとしても、配偶者控除があるため103万円以上働かないことを選択する女性も多く、労働力低下の一因だと指摘。また仕事がない若者が増えて結婚・出産ができない現状にふれ、「このままでは少子化が急速に進み危機を迎える。共働きで子育てできる新しい社会モデルが必要」と話されました。

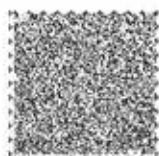
カギは自分たちにある!

次に北欧諸国の取組を紹介。ノルウェーやスウェーデンはGEM指数※が1、2位(2007年)と上位で、就業者全体に占める女性の割合は40%強、女性管理職は約30%を占める。また家事育児時間の約40%を男性が担っている。女性の登用を法律で義務化したことで、企業は激しい自由競争のなか女性を活用しながらも業績を上げ、子育てしながら働ける社会を実現していると解説しました。

日本では週50時間以上働く人のほぼ30%、うち20～40代男性の約40%が平日10時間以上働いているという長時間労働のデータを示されました。「現状では男性は家事育児に参加できず、ワーク・ライフ・バランス(WLB)も進まない。長時間労働はメンタル面の負担も大きく、中年男性の自殺率が高い要因ともなる。定年退職後に家庭や社会との関係性が少なく高齢男性の幸福度が低い結果が出ていることから、労働時間を規制してWLBを進める必要がある。そして男女で助け合い男女共同参画を進めることが大切」と話されました。

最後に、「無理に進めても男女共同参画は定着しない。社会の価値観を転換していくことが必要。それには、一人ひとりができることを、できる範囲で地道にやっていくことがカギとなる」と述べられました。政策や法律だけでなく、私たち自身の価値観を見直すことが社会を変える一歩との気づきを得た講演でした。

※GEM指数：ジェンダーエンパワーメント指数の略称で、女性の政治参加や経済界における活躍、意思決定に参加できるかどうかを表す指数。



『面白い』ところに人は集まる

ユタカ交通株式会社 代表取締役社長 ^{とよだ} 豊田 ^{ひでみつ} 英三さん（和歌山市） ※平成17年8月推進事業者登録

女性ドライバー誕生へ

企業向けのハイヤーが主流だったユタカ交通は、10年前から新たな事業を模索、小型で利用しやすいタクシーもと考え、女性ドライバーを中心に『空のタクシー』を考案。平成14年、女性ドライバーを募集、5人の応募のうち2種免許を取得できた3人を採用、その中で企画提案力と実行力のあった女性一人が管理職として抜擢され、現在も第一線で活躍しています。

女性ドライバーが働きやすいように勤務は日中のみとし、子育てや介護などで休暇・早退するときには、ほかの社員がカバーしています。

身だしなみや利用者への細やかな気遣いなどについて女性社員の意見を取り入れた結果、利用客の反応が良くなり企業イメージの向上につながりました。このことから、介護や生きがい・健康事業など、女性の多様なアイデアを活かし多角的な事業を展開してきました。



『人財』を育てる環境づくり

女性ドライバーは利用客に好評で、女性を希望される人も増えました。事業を始めて10年が経ち、もっと女性ドライバーを増やしたいものの、なかなか応募者がいない状態です。そのため様々な改善を模索しています。また、女性社員が中心となり、タクシー業界の勤務環境が厳しいというイメージを払拭すべく、イメージアップのための企画を考案中です。

豊田さんから働く女性に、「この仕事でどんなことがしたいか、社会とどう携わりたいか」という思いを伝えてほしい。意識を高めると働く楽しさも生まれる。そんな女性たちと色々な事業をやっていきたく」とメッセージがありました。

また、今後の展望について、「面白いところに人は集まる。『面白い』会社にしていきたい。そのために企業も人も双方が成長でき高め合える『人財』を育てたい」と熱く語られました。



『育児しながら働きたい』その思いをカタチに

有限会社シーエスピー 代表取締役社長 ^{ちほた} 千畑 ^{ひろのぶ} 博信さん（岩出市） ※平成19年7月推進事業者登録

『授乳服』がヒットのカギ



主に婦人服を縫製する会社だったシーエスピーは、自社で試作した人前でも簡単に授乳できる『授乳服』がヒットし、その後、産後専用の授乳服を開発。現在はベビー服や育児用品まで幅広く取り扱っています。

平成15年にネットショップをオープン。その3カ月後、授乳服を購入したお客様がネット掲示板に商品紹介を書き込んだことから注文が殺到。自信を得た千畑さんは、商社を退職した妊娠中の女性に在宅ワークでデザインを依頼し新商品を開発、会社は急成長しました。

千畑さんは、その経験から育児をしながら働きたい女性がチャンスを得られる会社になりたいと考え、乳児を連れて出勤し授乳ができるように事務所を整えました。その結果、十分責任ある仕事ができることを実感しました。



誰もが働きやすい環境に

積極的に女性を雇用、社員20人のうち女性正社員10人、女性パートが5人です。小学校就学前の子どもがいる男女正社員対象に1時間の時短勤務・時間単位での有給取得制度、パートから正社員に昇格できる段階別評価制度など環境を整備し、平成20年に厚生労働省の「くるみんマーク」※を取得。千畑さんは、こうした環境は男女を問わず誰もが働きやすいと考え、「今は自分がカバーしても、やがて子どもができた時、今度はサポートしてもらう番になると考え、社員全員で助け合っています」と話されました。

また、ネット上で顧客参加型の企画会議や子育てサークルとの商品開発など女性の視点を活かした取組、NPOと協働したチャリティイベントや子育て講座なども開催しています。「女性は、消費者目線から商品を生み出すのも得意。社会参画するには自分で収入を得ることが大切。これからも企業として応援したい」と働く女性にメッセージをいただきました。

※くるみんマーク：従業員の子育て支援のための行動計画を策定・実施し、その結果が一定の要件を満たす場合に、厚生労働大臣の認定を受けた事業主が商品等につけることができるマークの愛称名。



これからの“りいぶる”講座・イベント案内

「心が折れない男の生き方 ～しなやかに、おだやかに、したたかに生きるヒント～」

『心が折れそうなビジネスマンが読む本』の監修者・吉岡俊介さんを迎え、あなたの疲れた心をときほぐします。

日時：8月7日（水） 19:00～20:30
場所：“りいぶる”会議室A
講師：吉岡 俊介さん（シニア産業カウンセラー）
定員：男性 20人程度

「私にもできる！ 地域社会への貢献をビジネスに！」

社会の問題解決に取り組む「社会起業家」をめざしているけれど、動き出せていないあなたに。ホップ！ステップ！ジャンプ！ さあ今がチャンスです！

日時：①10月26日②11月9日③11月30日④12月7日
すべて土曜日 10:00～16:00
場所：“りいぶる”会議室A
講師：有井 安仁さん（わかやま地元力応援基金専務理事）
定員：20人

親子で“ゆったり”、過ごしませんか。

“りいぶる”絵本の広場&昨年大好評だった、“保育つき読書の時間”を開催します

お待ちかね!

絵本の広場（年2回）

“りいぶる”の蔵書からセレクトした、絵本のよみかかせです。
手遊びなどもありますので、お子さんと一緒に楽しめますヨ♪

日時：① 8月22日（木） 10:30～11:10
② 11月28日（木） 10:30～11:10
場所：“りいぶる”一時保育ルーム
定員：10組（先着順）

0歳児からご参加いただけます！

保育つき読書の時間（年2回）

子育てで忙しい毎日に、ゆっくり本を愉しむ“リフレッシュタイム”をプレゼント。
お子さんは、“りいぶる”の一時保育ルームでお預かりします。

日時：① 9月6日（金） 10:00～12:00 ※8月1日から受付
② 12月6日（金） 10:00～12:00 ※11月1日から受付
場所：“りいぶる”図書・交流スペース
定員：10組程度（先着順） ※保育は1歳～未就学児が対象

●受付は、電話・来館のみ。

りいぶるフェスタ2013 11月16日（土）・17日（日）開催！

11月16日（土） 和歌山ビッグホエール特設ステージにて

菊間 千乃さん（弁護士、元フジテレビアナウンサー）講演会を開催します！

「今日の自分を超越る～私のチャレンジ～」

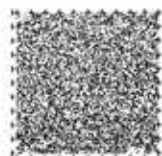
ほかにも
イベント
いっぱい
♪

啓発ポスターの
展示や表彰式！



展示ブースも
(16・17日)
お楽しみに!

模擬店
屋台も～♪



○講座・イベントへのお問い合わせ・お申込みは“りいぶる”まで
お申込みは、電話・FAX・Eメールで受け付けます。お名前・ご住所・電話番号・
一時保育の有無を、お知らせください。

詳しくは、「りいぶる」HP、「県民の友」をご覧ください。 **要CHECK!**

「男女でつくる元気な和歌山」ポスター募集

- ①応募資格：和歌山県内に在住、または通学する小学生、中学生及び高校生
(特別支援学校に在籍する児童・生徒を含む)
- ③締切：9月13日(金) ※当日消印有効
- ④応募方法：作品の裏面に、必要事項を記入したポスター応募票を貼り、「りいぶる」まで提出してください(郵送可)



※昨年度の受賞作品です

作品にはキャッチフレーズを必ず入れてください。
例・めざせ！ワーク・ライフ・バランス
・気付いて！デートDV
・育メン・家事ダン 今でしょ！
などなど、その他、自作でも可。

★「りいぶる」に来てネ！キャンペーン★

女性に対する暴力をなくす運動 (毎年11月12日～25日)



「りいぶる」では、期間中(※25日は休館日)先着30人にきいちゃんメモ帳と入浴剤(予定)をプレゼントします。

夫・パートナーからの暴力、性犯罪、セクハラなど女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害します。女性の人権尊重のための啓発を行います。

「りいぶる」15周年記念 お楽しみ抽選会♪



開館15周年を記念し、12月3日(火)～8日(日)の期間中、先着30人(予定)に「りいぶる」のグッズなどをプレゼント。何が当たるかはお楽しみ！

みんなで
遊びに
来るワン!

◆和歌山イコール会議 会員募集中!◆

「和歌山イコール会議」は、様々な分野の女性がつながりを持ち、情報発信や課題解決、また災害時の連携等も視野に活動していくネットワークです。

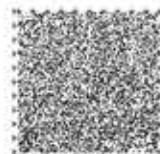
発起人代表 松原敏美さん(弁護士)からのメッセージ

私たちは、ゆったりとした女性のつながり、つまりネットワークを創りたいと思います。

- (1) なぜ「つながり」を求めるのかと言えば、昔から人はつながって問題をうまく解決したからです。
- (2) 何を目標につなげるのかと言えば、みんなが元気にいきいきと暮らすことが目標で、そのためにネットワークを持ちたいのです。ここで言う「みんな」は誰かと言えば、和歌山県に住んでいる人は勿論、和歌山に関わりのある人みんな。性別も年齢も問いません。
- (3) なぜ、そのために「女の人」がつなげるのかと言えば、女の方は意見を言う場が少なかったり、言っても聞いてもらいにくかったりするので、みんなでまとまって知恵を出し、声を出し、行動して、これまでになかった新しい流れができれば、と思うからです。
- (4) なぜ、「今」なのかと言えば、人口が減ってきて、国も県も財政難で、今まで委せておけばよかったことや、お願いすれば何とかよかったことも、これからは、私たちも一緒になって協力しなければ、うまくいかなくなるだろうということが、目に見えてきたからです。

どうか一人でも多くの方が、女性の新しいネットワーク「和歌山イコール会議」にご参加下さいますよう、お待ちしております。

入会やお問い合わせは「りいぶる」まで





地域で自分らしく、イキイキと活動する人を紹介しています。

防災に女性の視点を

3Wわかやまウィメンズワッチタワー代表・防災士 市場 美佐子さん（和歌山市）

詳しくはこちら

同じ目線で伝えていくこと



阪神・淡路大震災後、防災意識を高めようと地域に働きかけた市場さん。その頃、防災は男の役割と女性の活動の場がなく、悪戦苦闘する日々でした。その後、40歳半ばでガンを患い、もし命が助かるならもう一度取り組もうと決意。手術は成功、和歌山大学防災研究教育プロジェクトと県が連携した『紀の国防災人づくり塾』を受講、防災士の資格を取得。「これからは防災の分野も、女性も男性も共に取り組む時代です」と、和歌山大学防災研究教育センターの今西客員教授から背中を押され修了生の女性で3Wを立ち上げ、教授のサポートのもと啓発活動に取り組んできました。現在、19歳から50代の10人がメンバーです。

3Wでは今西教授から『防災啓発プログラム』をいただき、『トイレが大変！』（山下享：著）の読み聞かせ・新聞紙でつくるマイトイレ（3W考案）の防災・減災啓発講座は現在まで約120か所で開催されました。

子どもたちに防災教育を

東日本大震災で被災した男性の実話から、大型紙芝居『にげる、にげる』を作成、保育園などで上演し逃げることの大切さを伝えています。「子どもや孫を亡くすことは未来をなくすこと。子どもが一人でも逃げられるように教えるのが大人の責務」と語られました。

昨年3月、地元公民館の避難訓練で、津波が到達するとされている45分間でどこまで逃げられるか確認しようと、実際に防災リュックを背負い避難場所まで歩きました。今西教授が言う「実際に、家族と一緒に避難場所まで歩いてみるのが大切」ということを伝え続けています。

市場さんは、「地域によって防災の取組が違う。3Wのような地域のニーズに合った防災に取り組む小さいグループがたくさんできることが大きな力につながる。そして、子どもたちに防災教育を根付かせたい」と防災・減災への思いを熱く語られました。



“私ができるから誰もができる”

FMはしもと株式会社 代表取締役 向井 景子さん（橋本市）

詳しくはこちら

主婦からの転身



橋本市にコミュニティ放送局FMはしもと（放送地域は橋本市・かつらぎ町・九度山町）が開局しました。代表取締役である向井さんの義父の、20年来の夢が実現したものです。

御坊市出身で橋本のことがよくわからず、もっと情報がほしいと思っていた向井さんは、地域への情報発信の手伝いができるならと

代表を引き受け準備から携わってきました。

現在、小学5年生と4歳児の母でもある向井さん、大学を卒業して就職後すぐに結婚退職。11年間、専業主婦だったことから不安もあり悩みましたが、次男の保育園入園もあり思い切ったと話されました。

地域の交流ステーションとして

昨年10月、株式会社設立。国の免許申請等、手続きが多く大変でしたが、人との縁につながり、様々な協力を得て開局に結び付けました。

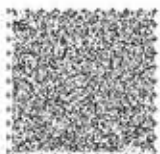
スタッフは常に2～3人、番組のパーソナリティは地元の人約60人と高校放送部員約40人。番組の内容、構成も地元に着目し、みんなが伝えたいことや知りたいことを発信しています。地域の交流ステーションとして、また防災や地域活性化の手伝いができることをめざしています。

「今はまだ道をつくる途中、“私ができるから誰もができる”と思っています。困ったときに『助けて』と言える仲間感謝し、皆さんのご協力やご指導のおかげで、だんだんと実力がついてくるのだと思います。地位は人をつくりません。何かにチャレンジするときは、まず動くこと。動いてから考えると前に進めます」と、熱く語られました。



ただいま生放送中！

☆このコーナーで取り上げた方の詳しい活動内容は、“りいぶる”HPで紹介しています。



“りいぶる” 図書室

3つのコーナー新設しました！

- ★「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」
- ★「大人も絵本」
- ★「スタッフおススメ本」

雑誌のバックナンバーの貸し出しもできるようになりました(*^^)v

“りいぶる”の図書室では、雑誌や図書3冊、DVDとビデオは
どちらか1本、貸し出しができます。
また、インターネット検索や、新聞をゆっくり読むこともできます。



図書・DVDのご紹介 ☆貸出の方法や本の検索など、お気軽にスタッフまでお問い合わせください☆

「結婚しなくていいですか。すーちゃんの明日」



著者：益田 ミリ
出版社：幻冬舎

35歳、独身のすーちゃんの日常を描く。
繰り返される普通の生活の中から、結婚、子育て、介護、老後など様々な問題をふんわりとした女性の視点で描く。気付き、共感し納得する1冊。
友人のさわこさんが結婚をやめた理由に、改めて考えさせられます。

「自炊男子」



著者：佐藤 剛史
出版社：現代書林

大学生になったタカシは一人暮らしを始め、彼女に美味しい手料理で気をひこうとする下心から自炊をするように…。
「生きることは食べること。食べることは生きること」。料理を通じて成長するタカシは、人生で大切なことと出会っていく。読み終わると、感謝の気持ちと感動が押し寄せます。

「僕らは歩く、ただそれだけ」



2009年日本
監督：廣木 隆一
主演：安藤 サクラ

恋人と別れた喪失感を埋められないカメラマンのみゆきは、ひとり故郷の地に…。癒されない思いを抱き、カメラを片手にただ町を歩く。同級生たちとの再会から、抑えつけていた感情がほどかれる。
淡々とした映像と SPANK PAGEの音楽、地味だけれど心に残る、そんな作品です。

青少年・男女共同参画課インフォメーション

— 男女共同参画推進事業者を登録しました —

会社名 社会福祉法人 同仁会 (登録番号 男女第56号) 平成25年5月22日登録

所在地 印南町 業種 社会福祉事業 (高齢者福祉事業)

H P <http://carrefour-inami.jp/>

- 性別に関係なく正規職員として採用し、安定した職場環境づくりを推進
- 個人の能力、仕事に対する責任感に応じて管理職に登用
- 団体受験制度を利用し、職場で資格試験を受験できるようにすることで、従業員がスキルアップをしやすい職場環境づくりを実践
- 時間単位で有給休暇の取得が可能
- 育児・介護休業等に関する規則を整備
- セクハラは男女両方の管理職に相談可能にし、男性も女性も相談しやすい体制を構築



登録証交付式(5月22日)
左から日高振興局長、辻施設長、若野事務長

県では、男女が共に安心して生き生きと働くことができる職場・環境づくりに取り組んでいる事業者の皆さんを登録し、その活動を応援しています！

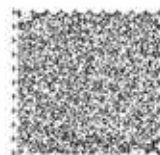
申請・お問い合わせは県庁青少年・男女共同参画課まで。

TEL 073-441-2510 FAX 073-441-2501 e-mail: e0314001@pref.wakayama.lg.jp

※詳しくは、ホームページをご覧ください。

和歌山県男女共同参画

検索



“りいぶる”相談室

相談受付専用ダイヤル **073(435)5246**

相談料は無料。専門の相談員がお話をおうかがいします。
 秘密厳守です。ナンバーディスプレイは使用していません。

総合相談

家庭や職場のこと、生き方への不安など、様々な悩みや相談に、女性相談員が応じます。

電話相談

〇水〇木〇金〇土〇 9:00～20:30
 (受付は20:00まで)
 〇〇〇〇〇〇日 9:00～17:00
 (受付は16:30まで)

面接相談 (予約制・女性のみ)

〇水〇木〇金〇土〇 9:00～17:30
 (受付は16:30まで)
 〇〇〇〇〇〇日 9:00～16:00
 (受付は15:00まで)



女性のためのカウンセリング

女性が抱えるこころの問題に、女性カウンセラーが応じます。

面接相談または電話相談

〇〇〇〇金〇〇 13:00～16:40
 ※第1～第3金曜日
 予約制、各日4人まで。
 相談時間は1人40分。

女性のための法律相談

夫婦、財産相続、金銭問題等、女性にとって身近な法律上の問題に、女性弁護士が応じます。

面接相談のみ

月4回 13:00～14:50
 ※日程は“りいぶる”までご確認ください。
 予約制、各日3人まで。
 相談時間は1人30分。

男性のための電話相談

職場のストレスをはじめ、夫婦・家族・人間関係などの様々な問題に、男性相談員が応じます。

〇水〇〇〇〇〇 16:00～20:00 ※第2水曜日
 予約優先(匿名可) 相談時間は1人40分程度

性暴力支援センター和歌山

わかやまmineが開設

性暴力を受けた女性のために、女性支援員が総合的支援を行うセンターが、7月16日、県立医科大学附属病院内に開設されました。

こころとからだの回復のための細やかな支援を行います。



◆相談受付専用ダイヤル

〇七三-四四四-〇〇九九

相談・医療 ※祝日、年末年始を除く

9:00～17:00 (土・日は16:30まで)

◆ただし、緊急妊娠など緊急医療は

22:00まで ※年末年始を除く

●性暴力とは●

自分が望まない性的行為です。同意のない、対等でない、強要された性的行為はすべて性暴力です。

一人で悩んでいませんか。

わかやまmineにご相談ください。

わかやまmineに関するお問い合わせは、“りいぶる”まで。



◆発行 和歌山県男女共同参画センター

“りいぶる”

〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2
 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛9F

T E L (073) 435-5245

F A X (073) 435-5247

《メールアドレス》 libre@sirius.ocn.ne.jp

開館時間 火曜～土曜：午前9時～午後9時

日曜：午前9時～午後5時30分

休館日 毎週月曜・国民の休日(祝日)

年末年始(12月29日～1月3日)

HPは“りいぶる”で検索してください。

